華麗な群舞と怒涛のタップが繰り広げる大迫力のステージ。独創の舞台芸術！
世界チャンピオンのダンス・カンパニーが贈る最高の**エンタテインメント・ショー**

トリニティ・アイリッシュ・ダンス

TRINITY IRISH DANCE COMPANY

伝統のステップを進化させる斬新な演出。
「空飛ぶ脚」に驚嘆！

煌びやかな衣装に
繊細なステップが美しく舞い踊る

異国情緒あふれる本格的な
アイリッシュ・ミュージックを
生演奏で楽しめる

アイリッシュ・ダンスの女王
アリー・ダウティ
が再来日！
（2014年世界選手権優勝）

芸術監督：マーク・ハワード
演奏：ジェイク・ジェームス（フィドル、バウロン）
ブレンダン・オシェイ（ギター、ヴォーカル）
クリス・クルウィン（ベース）
スティーヴン・ラトレッジ（ドラム）

2020.

東京公演 7/4（土） 14:00開演 18:30開演 Bunkamura **オーチャードホール**（2公演）

横浜公演 7/5（日） 14:00開演 **神奈川県民ホール**

チケット（全席指定） S席 11,000円 A席 9,000円 B席 7,000円（税込）

※開場は開演の30分前。
※対象4歳以上（4歳未満のお子様はご入場いただけません。
お子様の膝上での鑑賞はご遠慮ください）
※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合があります。

チケット取扱 プレイガイド 2020年1月24日（金）10:00～ 一般発売開始

テンポプリモ	03-3524-1221 www.tempoprimo.co.jp
イープラス	eplus.jp/ <PC&携帯>
ローソンチケット	0570-000-407（オペレーター対応）http://l-tike.com/ Lコード: 34022（東京）、32786（横浜）
チケットぴあ	0570-02-9999 http://pia.jp/ Pコード: 499-070（東京）、499-193（横浜）
日経ショップ	03-6256-7682(店頭販売のみ)
テレビ東京イベント事業部	http://tv-tokyo.co.jp/event/
セブンチケット	http://7ticket.jp/

【東京公演のみ】

Bunkamuraチケットセンター	03-3477-9999(10:00～17:30)※オペレーター対応
オンラインチケットMY Bunkamura	https://my.bunkamura.co.jp（※PC・スマホ対応／座席選択可）
Bunkamuraチケットカウンター	Bunkamura1階（10:00-19:00）
東急シアターオーブチケットカウンター	渋谷ヒカリエ2階（11:00-19:00）

【横浜公演のみ】

神奈川芸術協会	045-453-5080 www.kanagawa-geikyo.com
チケットかながわ	0570-015-415

最新情報は… 公式ウェブサイト
トリニティ・アイリッシュ・ダンス 検索
www.trinity-japantour.com

主催：日本経済新聞社 テレビ東京
企画制作：テンポプリモ
協力：神奈川芸術協会（横浜公演）

お問い合わせ テンポプリモ Tempo Primo 03-3524-1221（平日10:00～18:00） www.tempoprimo.co.jp

ハリウッド・スターの振付を務める大物演出家マーク・ハワードの舞台芸術
伝統のアイリッシュ・ダンスに新しいスタイルを樹立した先駆者

1990年、世界中の様々な舞踏・音楽の要素を集結させた「プログレッシヴ・アイリッシュ・ダンス」の思想を元にトリニティ・アイリッシュ・ダンス・カンパニーを立ち上げてから30年。それまで競技会が主な発表の場であったアイリッシュ・ダンスが、エンタテインメントの要素を伴う舞台芸術と発展し、後のリバーダンスやロード・オブ・ザ・ダンスの出現に繋がった。米テレビ界最高の栄誉とされるエミー賞を2度受賞し、自らが主宰するアカデミーからは毎年のように世界選手権で優勝するダンサーを輩出するなど、アイリッシュ・ダンス界を最前線で牽引してきたのがまさにマーク・ハワードその人。2018年の日本ツアーでは何と4つの新作も発表し、伝統のアイリッシュ・ダンスをエンタテインメント・ショーへと進化させ、さらなる可能性を無限に追求する舞台芸術家である。

2004年以来8度目となる今回の日本ツアーでは、2014年の世界チャンピオン、「アイリッシュ・ダンスの女王」アリー・ダウティが引き続き再来日するほか、今回の新作発表に大きな期待が掛かる。アイリッシュ・アメリカンの聖地シカゴから、今年もタップの嵐が吹き荒れる！

激しいタップからスピード感あふれる軽快な群舞、超絶足技が魅せる千変万化なるステージ。

An Sorcas
ザ・サーカス

Curran event
カーラン・イベント

Johnny
ジョニー

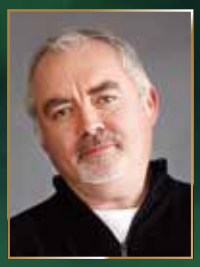
世界チャンピオンの共演

Black Rose
ブラック・ローズ

Push
プッシュ

A New Dawn
新しい夜明け

マーク・ハワード（芸術監督）
Mark Howard, Artistic Director



アイルランド人の両親のもと、イングランドのヨークシャーに生まれる。幼少時シカゴに移住、9歳からデネヒー・アイリッシュ・ダンス・スクールに学ぶ。北米選手権優勝の後、17歳でトリニティ・アカデミー・オブ・アイリッシュ・ダンスを設立、数々の世界大会優勝を果たす。1991年「100名のアイリッシュ・アメリカン」に選出、1993年にはエミー賞を獲得。現在、トリニティの芸術監督を務めるかたわら、『バックドラフト』『アメリカン・ビューティ』『ロード・トゥ・パーディション』等多くの映画、TV、舞台作品で振付を手掛ける。トム・ハンクス、ケート・ハドソン等大スターのプライベート・コーチとしても有名。

トリニティ・アイリッシュ・ダンス
Trinity Irish Dance Company

1979年トリニティ・アカデミー・オブ・アイリッシュ・ダンスとしてシカゴに創設された。主宰は、著名なダンサーで振付師、舞台演出家のマーク・ハワード。1987年アイルランドで行われた世界アイリッシュ・ダンス・コンクールでアメリカの団体として初めて優勝したのを始め、現在まで実に36度世界タイトルを獲得。1990年世界のさまざまな舞踏や音楽の要素を取り入れたプログレッシヴ・アイリッシュ・ダンスを発信させるため、ソロ世界チャンピオンを含む18歳から26歳のダンサー22名、ミュージシャン、スタッフを現名称で独立設置、ワシントンD.C.のケネディ・センター、ニューヨークのジョイス・シアター、シカゴのオーディトリアム・シアター等で公演を行ってセンセーションを巻き起こす。以来、全米、欧州のツアーは常にソールド・アウトを記録、日本の鼓童、ボストン・ポップス等とも共演を行っている。

Voices 推薦の声

生命力が溢れて、人を元気にさせるステージは、沢山の方にとにかく見てほしいです！
—鈴木明子（プロフィギュアスケーター）

アイリッシュ・ダンスのルーツがこの姿。
—宮本亜門（演出家）

舞台から伝わる、信じられないほどの情熱。
—ロン・ハワード（映画監督）

伝説がベールを脱いだ！
—アイリッシュ・ダンス・マガジン

もう素晴らしかったの一言に尽きます！
—デヴィ・スカルノ（タレント）

リバーダンス、ロード・オブ・ザ・ダンスは巨万の富を生み出したが、そのお手本はマーク・ハワードのトリニティなのだ。
—ミルウォーキー・ジャーナル・センティネル

空飛ぶ脚 —ニューヨーク・タイムズ